

受験番号 _____

答案用紙

2026年度

日商簿記検定試験対策

第173回試験をあてる
TAC直前予想模試

1 級 — I

商業簿記・会計学

(制限時間 90分)

第1予想

TAC 簿記検定講座

受験番号 _____

氏 名 _____

1 級 ①

商 業 簿 記

総 合 点	採 点 欄
	商 簿

貸 借 対 照 表

(単位：千円)

現 金 預 金	320,250	買 掛 金	292,500
売 掛 金	()	()	()
貸 倒 引 当 金	()	商 品 保 証 引 当 金	()
有 価 証 券	()	未 払 法 人 税 等	()
商 品	()	未 払 費 用	()
前 払 費 用	()	退 職 給 付 引 当 金	()
未 収 収 益	()	資 本 金	960,000
建 物	800,000	資 本 準 備 金	()
建物減価償却累計額	()	利 益 準 備 金	()
備 品	55,000	繰 越 利 益 剰 余 金	()
備品減価償却累計額	()	その他有価証券評価差額金	()
土 地	600,000		
投資有価証券	()		
関係会社株式	()		
長期貸付金	400,000		
破産更生債権等	()		
繰延税金資産	()		
	()		()

損 益 計 算 書

(単位：千円)

売 上 高	()	営 業 外 収 益	
売 上 原 価	()	受 取 利 息 配 当 金	()
売 上 総 利 益	()	有 価 証 券 運 用 益	()
販売費及び一般管理費		営 業 外 収 益 合 計	()
販 売 費	()	営 業 外 費 用	
貸倒引当金繰入額	()	支 払 利 息	1,700
商品保証引当金繰入額	()	営 業 外 費 用 合 計	1,700
減 価 償 却 費	()	経 常 利 益	()
退 職 給 付 費 用	()	特 別 損 失	
一 般 管 理 費	()	関 係 会 社 株 式 評 価 損	()
販売費及び一般管理費合計	()	特 別 損 失 合 計	()
営 業 利 益	()	税 引 前 当 期 純 利 益	()
		法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	()
		法 人 税 等 調 整 額	()
		法 人 税 等 合 計	()
		当 期 純 利 益	()

(注) 金額がマイナスの場合、△を付しなさい。

受験番号 _____

氏 名 _____

1 級 ②

会 計 学

採 点 欄	
会	
計	

第1問

ア	イ	ウ
エ	オ	

第2問

問1

(1) 千円 (2) 千円

問2 (注) 金額がマイナスの場合、△を付しなさい。

(1) 千円 (2)

当期発生額	千円
組替調整額	千円

第3問

連 結 損 益 計 算 書

(単位：千円)

I	売 上 高	()
II	売 上 原 価	()
	売 上 総 利 益	()
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
1.	広 告 宣 伝 費	()
2.	減 価 償 却 費	()
3.	の れ ん 償 却	()
4.	そ の 他 の 営 業 費 用	()
	営 業 利 益	()
IV	営 業 外 収 益		
1.	受 取 配 当 金	()
2.	受 取 利 息	()
V	営 業 外 費 用		
1.	支 払 利 息	()
	経 常 利 益	()
VI	特 別 利 益		
1.	固 定 資 産 売 却 益	()
	税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	()
	法 人 税 等	()
	法 人 税 等 調 整 額	()
	当 期 純 利 益	()
	非 支 配 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	()
	親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	()

受験番号

答案用紙

2026年度

日商簿記検定試験対策

第173回試験をあてる
TAC直前予想模試

1 級 — II

工業簿記・原価計算

(制限時間 90分)

第1予想

TAC 簿記検定講座

2026年度
第173回試験をあてる TAC直前予想模試
第1予想答案用紙

受験番号 _____

氏 名 _____

1 級 ③
工業簿記

総合点	採点欄
	工簿

問1

製品X	個	製品Y	個
-----	---	-----	---

問2

円

問3

	第1工程完成品総合原価	第1工程月末仕掛品原価
原料A	円	円
加工費	円	円
合計	円	円

問4

仕掛品 - 製品X (単位:円)

月初仕掛品原価 ()	完成品総合原価 ()
当月製造費用	仕損品評価額 ()
原料費 ()	月末仕掛品原価 ()
加工費 ()	
計 ()	
()	()

問5

円

問6

円

受験番号 _____

氏 名 _____

採	点	欄
原		
計		

1 級 ④

原 価 計 算

第1問

A	機能	形態	原価部門	製品	費目
B	機能	形態	原価部門	製品	費目
C	機能	形態	原価部門	製品	費目
D	各部門	現場	財務会計	管理会計	期間損益計算
E	第一次	第二次	第三次	第四次	最終

第2問

問1 Y製品の最大生産数量 個

問2	関連原価	無関連原価	標準原価	直接原価	機会原価
	その合計額				円

問3 X製品に加えてY製品の生産を行うことは、X製品のみを生産する場合と比べて
 円 (有利 不利) である。

(注) () 内は「有利」か「不利」のいずれかを○で囲みなさい。

第3問

問1 この合理化案を採択することは、採択しないより 円 (有利 不利)
 である。

(注) () 内は「有利」か「不利」のいずれかを○で囲みなさい。

問2 合理化案による製品Aにおける加工時間短縮が % より多ければ、合理化案を採択する
 ことが有利になる。

第4問

問1 (1) 材料の経済的発注量 ロット(2) 発注費と保管費の年間合計額 円問2 年間でいくらのコストアップを余儀なくされるか 円問3 材料発注1回当たりの発注費をいくりにすればよいか 円